

編集後記

今から10年ほど前、ヒトの膵臓の外分泌機能を患者さんに苦痛を与えずに正確に測定できないか検討したことがある。それまで最も信頼されていた外分泌検査法は十二指腸ゾンデ法であり、患者さんにとっては苦痛の大きい、手間と時間がかかる割に、客観性も今ひとつな検査法であった。そこで目を付けたのがPETである。消化酵素を作るため膵臓は生体内で最も蛋白合成が盛んな臓器である。¹⁴Cでメチオニンをラベルし、膵での取り込みを経時的にPET画像から定量し、同時に採取した十二指腸液の膵液成分と比較した。

当時、PET装置は全国的にも限られた箇所にしかなく、ポジトロン核種のラベルも特殊な技術だった。この領域では先端を行っていた秋田脳研を訪れ、何とか共同研究にこぎつけた。まだ、盛岡と秋田間の高速道路が開通しておらず、仙台と秋田を車で片道4時間かけて何度も往復した。今回、大月論文で引用して頂いており、懐かしく思い出した。

PETは、従来の画像検査とは全く発想を異にした画期的な診断法である。現在、最も普及しているのが¹⁸F-FDGを用いた悪性腫瘍の検出であるが、わが国では2002年に一部の悪性腫瘍に保検適応となつてから瞬く間に全国に普及し、FDGの供給体制の整備もあり、一種のブームになっている。

FDG-PETは、さまざまな利点を持つが、何と言っても患者さんに苦痛を与えず、誰にでも一目瞭然に結果が理解できる単純さである。これが検診等でブームとなった理由の一つではないか。一方では、従来の各種画像所見を深い知識と経験から、微に入り細に入り読影し診断に至ることを生業としてきたプロの肝胆膵専門医からは、その単純さ故に馴染まないものとして疎外されてきた面があるのではないかと感じる。PETが普及し始めて5年が経ち、その真の実力を客観的に評価してよい時期と考え企画を練った。現在もデータが集積しつつある領域であり、どのような内容になるかやや不安はあったが、肝胆膵領域の検診、診断、術後経過、PET/CTのいずれにおいても現時点のまとめとしては最も充実した素晴らしい内容になったと自負している。また、機能画像としての将来の発展性について、¹⁵O-water PET、FAMT-PET、¹⁴C-methionine PETにも触れていただいた。執筆者各位のご努力に深謝したい。本企画によってPETの現状が読者の皆さんに正確に把握され、真に有用な検査法として臨床現場に定着していくことを願っている。

また、EUS-FNA技術講座は第5回を迎え、安田先生の深い経験から検査法の具体的なコツが述べられている。西川論文は、現在大きな問題となっているIPMNと浸潤癌の関連性、発生機序を知るうえで大変意義深く、読み応えのある症例報告と感じた。

今年はこの特集が最終号となる。業界内の激しい競争の中、本誌が来年はさらに発展し、読者の皆様に有意義な画像専門誌であり続けるよう祈りたい。

(下瀬川 徹)

編集顧問	有山 襄	竹原 靖明	望月 福治
編集幹事	二村 雄次		
編集委員	角谷 眞澄	神澤 輝実	工藤 正俊
	下瀬川 徹	棚野 正人	真口 宏介
	朝倉 徹	跡見 裕	猪狩 功遺
	石川 洋子	市川 智章	伊東 克能
	乾 和郎	今井 裕	植木 敏晴
	太田 哲生	岡崎 和一	梶原 建熙
	兼松 雅之	川崎 誠治	蒲田 敏文
	鬼島 宏	木下 壽文	木村 理
	熊田 卓	小井戸一光	神代 正道
	近藤 哲	坂元 亨宇	佐々木 洋
	須山 正文	高安 賢一	高山 忠利
	竹内 和男	武田 和憲	田中 雅夫
	土井隆一郎	長川 達哉	長谷部 修
	廣橋 伸治	本田 浩	眞栄城兼清
	前谷 容	松井 修	村上 卓道
	森 宣	森安 史典	柳澤 昭夫
	山雄 健次	山下 康行	竜 崇正
	渡辺 五朗		(五十音順)

掲載広告索引

(五十音順)

アステラス製薬(株)	523 頁
エーザイ(株)	表 2
カイゲン(株)	570 頁
オリンパスメディカルシステムズ(株)	540 頁
東芝メディカルシステムズ(株)	表 3
ボストン・サイエンティフィックジャパン(株)	531 頁

消化器画像(第9巻第6号)

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

☎ 本誌編集室直通(03)3817-5714 (担当)土田・小松原

FAX(03)3815-7802・3815-7982

E-mail: gazo@igaku-shoin.co.jp

http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/shoukaki/

2007年11月15日発行(隔月15日発行)

定価 2,940 円(本体 2,800 円+税 5%)

2007 年年きめ予約購読料 17,160 円

(年間 6 冊)(送料弊社負担)

☎ 販売部直通(03)3817-5659

振替口座 00170-9-96693

印刷所 三美印刷(株) ☎(03)3803-3131(代)

広告取扱 (株)文栄社 ☎(03)3814-8541(代)

• Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo. ©2007. Printed in Japan.

• 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有いたします。

• JCLS (株)日本著作出版権管理システム委託出版物)

• 本誌の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の許諾を得てください。

• 医学書院ホームページ(インターネット)は <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。